

収量、玄米外観品質および高温登熟性にも優れる

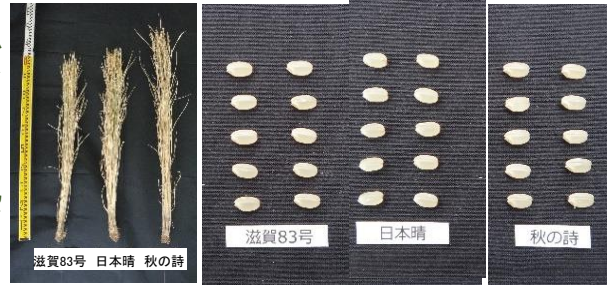
# 新品種「滋賀83号」の生産者を募集します！

## 1. 位置づけ

- 食味、玄米外観品質、収量性に優れた中生品種
- 環境こだわり栽培基準より、さらに化学肥料・化学合成農薬を削減した栽培。
- 本県の農業者がオーガニック農業に取り組むきっかけとなる品種。

## 2. 特徴

- ① 「にこまる」×「滋賀69号」
- ② 中生の晩熟期（成熟期は「日本晴」とほぼ同じ）
- ③ 食味は「コシヒカリ」と同等以上
- ④ 収量や玄米外観品質、耐倒伏性、高温登熟性にも優れ、台風や高温条件下で安定した生産が可能



	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	精玄米重 (kg/10a)	外観品質 (1~9)	耐倒伏性	穂いもちほ場抵抗性
滋賀83号	8/9	9/17	72	387	603	3.9	強	やや弱
日本晴	8/8	9/16	82	385	553	5.1	やや強	中
秋の詩	8/13	9/21	93	370	566	4.7	やや弱	弱

1) 2015年～2021年 奨励品種決定調査標肥区(5/10頃植、基肥4.5kgN/10a、穂肥2.5kgN/10a)平均値。

2) 玄米調製網目幅は2015年は1.80mm、2016年以降は1.85mm。

3) 外観品質は値が小さいほど良い。

## (参考) 令和4年度の現地実証ほの収量・品質等の事例

栽培区分	場所	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/10a)	整粒 (%)	食味値	タンパク (%)	粒厚分布(%)	
							1.85mm以上	1.90mm以上
オーガニック	野洲市	75.0	570	82.3	80	6.1	96.3	93.5
環境こだわり	彦根市	71.7	496	87.9	85	5.6	96.8	95.1

オーガニック栽培では、なたね油粕等、環境こだわり栽培では有機アグレットを肥料として使用。



## 生産者の声

- 台風や強雨で倒伏することなく、コンバインでの収穫作業も容易。
- 食味や品質で「コシヒカリ」を超えており、期待している。
- 初期生育が旺盛で、品質も良く、食味も良好。



## ※ 注意点

「滋賀83号」は、いもち病に強い品種ではありません。本病の常発地での作付けは避けてください。

### 3. 栽培方法

#### ① 「化学肥料や殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）を使用しない栽培」

＜肥料＞ 本田において無化学肥料で栽培

- ・有機質肥料の利用、大豆・野菜跡等の活用、たい肥・緑肥等の活用 等

＜農薬＞ 原則、殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）を使用しない栽培

- ・除草剤は使用可能
- ・これまでの病害虫発生状況により、予防的防除（箱施用剤等）を削減
- ・畦畔草刈り+色彩選別機の活用で、カメムシ防除の削減
- ・病害虫の常発地域（ほ場）を避けることによるリスク回避
- ・いもち病やウンカ類等の多発時には一部農薬の使用も可能
- ・化学合成農薬を使用する場合でも、「環境こだわり農産物」の基準を満たすこと

#### ② 「オーガニック栽培」（有機JAS認証を受けたもの）

※ ①または②の条件で栽培され、「滋賀県環境こだわり農産物」の認証を受けたもの

### 4. 生産者の要件

1. 「環境こだわり栽培」または「オーガニック栽培」の栽培実績があること。
2. 流通段階において一定ロットを確保するため、原則60a以上作付けすること。
3. 病害虫防除に関して、地域の共同防除体制等との棲み分けや合意形成が可能であること。
4. 品種名のほ場看板を設置し、生産のPRを行うこと。
5. 全量種子更新し、自家採種は行わないこと。
6. 種子を第三者に譲渡しないこと。
7. 1.85mm以上の網目で調製すること。
8. 出荷にあたっては農産物検査を受検すること。
9. 近江米振興協会が主催する研修会や情報交換等に参加すること。



### 5. 生産者等の調整および決定

申込者が多数の場合、面積・生産者は調整の上、決定します。なお、「オーガニック栽培」、「魚のゆりかご水田米」の取り組み実績のある生産者等を優先します。結果については、1月中旬頃(予定)に通知します。種子は有償です。

### 6. 今後のスケジュール

12/26まで	生産希望者からの栽培申込を受付
1/中旬	生産者および生産面積の決定
2/上旬	種子の販売
2月	生産者向け栽培技術研修会

#### 申込書の提出先と申込期限

申込書は最寄りのJAまたは集荷商業組合に、指定された期限までにご提出ください。

令和4年(2022年)  
準備年

- ・現地実証栽培
- ・生産者の募集
- ・品種名決定

令和5年(2023年)  
プレデビュー年

- ・一般栽培による生産(約60ha)
- ・PRおよび流通促進

令和6年(2024年)  
本格デビュー年

- ・本格栽培(500ha目標)

### 問い合わせ先

- 近江米振興協会 近江米新品種「滋賀83号」推進プロジェクト事務局  
(滋賀県農政水産部みらいの農業振興課 水田農業・作物振興係) 077-528-3833